

(1) 「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」連携事業の推進

方向性	市内の公的病院や医療系大学、関係団体などが協定を締結し設立した「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」を活用して、各構成団体と連携しながら各種健康医療関連事業を実施し、市民の健康増進に繋がります。
取り組み	<p>コンソーシアムに掲げる8つの分野の連携事業に基づき、構成団体と連携して、災害時における医療救護体制の強化をはじめ、市内の医療機関への医療通訳士派遣や小中学生に対する健康教育、健康づくり・介護予防、産後ケア事業、健康医療に関する情報発信などの連携事業を推進します。また、コンソーシアム連携事業として、第31回枚方市健康・医療・福祉フェスティバルを10月に実施し、健康医療について市民への啓発を図ります。さらに、コンソーシアム連携事業として取り組む新規事業について検討します。</p> <p>《目標値》 コンソーシアム連携事業への参加人数：12,000人 (実績：平成30年度 5,808人)</p> <p>平成31年度当初予算：954万1千円</p>

9月末の  
進捗状況  
【〇】

構成団体と連携して、各種の市民向け講座等の実施や、学校における健康教育等を行いました。また、市内医療機関への医療通訳士派遣を実施し、9月末時点で300件の利用がありました。

第31回枚方市健康・医療・福祉フェスティバルを、10月27日に実施します。

(2) 救急医療体制の整備

方向性	本市には、北河内夜間救急センターや枚方休日急病診療所などの初期救急医療機関から関西医科大学附属病院の高度救命救急医療機関まで、救急医療体制が整備されており、この機能を維持し、引き続き確保します。また、老朽化した医師会館及び休日急病診療所の市立ひらかた病院整備後の有効活用地への移転に伴う総合的な初期救急医療体制の再構築を進めます。
取り組み	<p>関西医科大学附属病院をはじめとする救急医療機関を支援するとともに、北河内夜間救急センターの事務局として、年間を通じた夜間小児救急医療の円滑な提供に努めます。また、昨年度に引き続き、市立ひらかた病院整備後の有効活用地へ移転する医師会館及び休日急病診療所、北河内夜間救急センター、休日歯科急病診療所の総合的な初期救急医療体制の再構築に向けて、運営及び費用負担等について、関係諸団体、諸機関と協議・調整を行います。</p> <p>平成31年度当初予算：2億2311万5千円</p>

<b>9月末の 進捗状況 【〇】</b>	休日歯科急病診療所、関西医科大学附属病院をはじめとする救急医療機関に対して支援を行うとともに、北河内夜間救急センターについては、夜間における小児救急医療の円滑な提供に努めています。また、総合的な初期救急医療体制の再構築に向けて、引き続き運営及び費用負担等について、関係諸団体及び諸機関との協議・調整を進めています。
------------------------------	---

(3) 災害時の医療救護体制の強化	
方向性	災害時の医療救護体制の強化に向けて、関係機関との連携を進めます。
取り組み	<p>災害時の医療救護体制の強化に向けて策定した「枚方市災害時医療救護活動マニュアル」を、より実効性のあるものとするため、関係機関と協議・調整を行いながら連携強化に努めます。また、10月に拠点応急救護所設置病院の一つである枚方公済病院において実践を想定した災害医療訓練を行い、関係機関との連携強化を進めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>拠点応急救護所設置病院における災害医療救護活動訓練の実施率（累計）：令和元年度（2019年度）までに80%（実績：平成30年度までに60%実施）</p> <p>平成31年度当初予算：155万7千円</p>



<b>9月末の 進捗状況 【〇】</b>	災害時の医療救護体制の強化に向け、6月の総合防災訓練「枚方ひこ防'z2019」において、拠点応急救護所設置訓練を実施しました。10月9日に実施する枚方公済病院との連携訓練に向けて、関係機関との協議・調整を進めるとともに、9月に部内職員を対象とした市域の災害医療救護活動に係る研修会を実施し、理解を深めました。また、「枚方市拠点応急救護所設置・運営マニュアル」策定に向け、人員配置や医薬品、資機材の備蓄等について関係機関と協議を進めています。
------------------------------	--

(4) 医療費適正化に向けた取り組みの推進	
方向性	国民健康保険被保険者の健康の保持・増進に向け、生活習慣病予防や重症化予防につながる特定健康診査をはじめとする各種保健事業の受診率・利用率の向上に向けた取り組みを拡充し、医療費適正化を図ります。
取り組み	<p>特定健康診査・特定保健指導・糖尿病性腎症重症化予防事業について、「ひらかたポイント」の対象事業とするとともに、おおさか健活マイレージ「アスマイル」の周知を図り、受診率・利用率の向上を図ります。また、健康への関心や健診受診への意識を高めるため、簡単にセルフチェックができる「生活習慣病チェックサイト」の周知を行うとともに、若年層向けに実施しているスマートフォンを利用した簡易な健診の利用促進を図ることで、特定健康診査対象年齢に達した時に受診につながるよう啓発に努めます。</p>

《目標値》

特定健康診査受診率 60% (国目標)

(実績：平成 29 年度受診率：33.7%)

平成 31 年度当初予算：415,980 千円

9 月末の  
進捗状況

【○】

「ひらかたポイント」について、特定健康診査受診券にチラシを同封し、健診対象者全員に周知を行うとともに、おおさか健活マイレージ「アスマイル」については、納付通知書にチラシを同封し、国民健康保険加入の全世帯に周知を行いました。

また、スマートフォンを利用した健診ツールである「スマホ de ドック」について、対象者（国民健康保険加入の 30 歳、35 歳、39 歳）に案内状を送付しました。

引き続き、機会をとらえて周知・啓発を行い、受診率・利用率の向上に努めていきます。